

第九十回
帝國議會
貴族院

會計法戰時特例廢止等に関する法律案特別委員會議事速記録第四號

付託議案

○政府出資特別會計法外二十一法令の
廢止等に関する法律案

昭和二十一年八月二日(金曜日)午前
十時二十九分開會

○委員長(男爵市三三三) ソレデハ
昨日ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、
板谷委員ニ申上ゲマスガ、逡信省ノ政
府委員ノ方ガ御見ニニナツテ居リマ
ス、農林大臣ハ又何レ……

○板谷順助君 逡信省ノ政府委員ニ御
伺ヒタイノデアリマスガ、郵便年
金、簡易保險等ノ此ノ投資ガ、或ハ外
地方面、内地方面ノ社債、債券或ハ株
式、有價證券等ニハ相當ニ投資サレ
テ居ルノデアリマスガ、恐ラク外地關
係ノ投資ハ殆ド是ハ取ル見込ガナイド
思フ、又内地ニ於テモ同様ノモノガ
ルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、是
等ノ取捨ニ付テハドウ云フ風ニ其ノ整
理ヲナサル御考デアルカ、或ハ其ノ結
果預金者ニ相當ノ影響ガ來ルヤウナ
トガアルノカナイノカ其ノ點御答ヲ願
ヒマス

○政府委員(岡井三郎君) 只今御質
問ノ簡易保險、郵便年金ノ運用資產ノ
外地ニ於ケル投資額ハ總計テ五億三千
四百萬圓ト相成ツテ居リマス、御話ノ
如ク是ハ恐ラク賠償ニ向ケラレコト
デアラウト思ヒマス、從ヒマシテ、此ノ
額ハ國ノ資產カラ喪失サレト云フ結
果ニ相成ルカト思ヒマス、サウ致シマ
シテ、ズツト後ニナリマシテ、此ノ賠
償ニ充テラレマシタ金額ニ對シテ一般
會計カラ補助スルカシナイカト云フ問

第四部第十一類 會計法戰時特例廢止等に関する法律案特別委員會議事速記録第四號 昭和二十一年八月二日(貴族院)

題ガ幾ル譯デアリマス、假ニ補償シ
ナイト致シマスレバ、ソレダケガ永久
ニ穴ガ空クト云フコトニナリマス、サ
ウ致シマシテ、此ノ穴ヲ如何ニシテ補
填スルカト云フコトニナリマス、ソ
レハ或程度既存ノ契約者ニ損失ヲ轉嫁
スルト云フコト外仕方ガナイド思ヒ
マス、但シ保險金ノ削減ト云フヤウ
ナ、基本的ナ權利ヲ侵害スルト云フ
ヤウナコトハ極力避ケマシテ、唯民間
保險ニ於ケマスル利益相當ニ相當致シ
マスル長期還付金或ハ滿期返還金、斯
ウ云フモノハ額モ使カデアリマスノ
デ、此ノ位ハ契約者モ忍ビテ戴カナケ
レバナラヌト思ツテ居リマス、此ノ長
期還付金或ハ滿期返還金ニ充テル爲ニ
積立テテ居リマス額ハ約八億圓足ラズ
ト思ヒマスガ、先程申上ゲマシタ五億
三千四百萬圓ガ假ニ全部喪失致シタ
ト致シマシテモ、契約者ノ被ル損失
ハ、長期還付金或ハ滿期返還金ヲ削減
スル程度ヲ以テマシテ十分ヤツテ行
ケルト、斯様ニ思ヒマス

○板谷順助君 サウスルト預金方面ニ
ハ一切迷惑ヲ掛ケナイ……實ハ先般或
方面カラ政府ノ意圖ヲ曉イタノデアリ
マスガ、郵便貯金ハ割合ニ少額デア
ルカラ、是ハ他ノ銀行ノ預金ノ如ク、ソ
レヲ制限スルカ打切ルト云フヤウナ
コトハシナイト云フコトヲ聞イタガ、
今アサナノ御答辯デハハツキリシナイ
ヤウデスガ、ドウナツテ居リカ、マダ
其ノ點アサナハ、御聽キニナツテ居
マセウカ

○政府委員(岡井三郎君) 只今申上
ゲマシタノハ簡易保險ト郵便年金ニ付
テデアリマシテ、郵便貯金ニ付キマシ
テハ、運用致シテ居リマスル在外資產
ノ運命ガドウナルカト云フコトニ付キ
マシテハ、私ノ方デハ分リマセウ、大
藏省ノ預金部ノ特別會計ニナツテ居
リマスノデ、其ノ方デヤツテ居リマス
コトデアリマスカラ、從ヒマシテ私ノ
方ト致シマシテハ、在外資產ノ喪失ノ
點デ預金ガドウナルカト云フコトハ私
ノ方カラ申上ゲラレマセウ、唯假ニ
在外資產ガドウアリマセウトモ、其ノ
在外資產ノ喪失ニ依ツテ預金者ガ迷惑
ヲ被ルコト云フコトハ恐ラクナイド思
ヒマス、唯今外地デ預金シテ居リマシ
タ預金者ニ對スル拂戻制限ヲ致シテ居
リマスガ、是ハ至ク別ノ觀點カラサ
ウ云フ制限ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、其ノ制限ト申シマスノハ、昨年ノ
九月二十三日其ノ箇ノ指令ガザイマ
シテ、對外金融取引禁止令ト云フモノ
ガ出マシテ、ソレニ基ク勅令及大藏省
告示ニ依リマシテ、外地デ預金シタ預
金、或ハ爲替ハ一切内地ニ於テハ支拂
ツテハナラナイ、斯ウ云ウ告示ガ出タ
ノデゴザイマス、併シナガラ郵便貯金
ト云フモノハ元來支拂ナモノデ、且又
金額制限モアルコトデアリマスシ、引
揚者ハ他ノ財產ハ一切抛擲シテ郵便貯
金通帳ダケ持ツテ歸ツタト云フ人ガ多
イノデアリマスカラ、若シ之ヲ全面的
ニ拂戻サヌト云フコトニナリマスレ
バ、引揚者ガ非常ナ窮乏ニ陥ル、ソレ
デハ困ルカヲ郵便貯金ニ限ツテハ何等
カノ特例ヲ設ケテ賈ヒタイト云フコト

ヲ、再三其ノ筋ヘ懇請致シマシタ結
果、ソレデハハト云フノデ現在ノ取扱
致シテ居ルノデゴザイマスガ、現在ノ
取扱ト申シマスルノハ、外地デ預ケマ
シタ貯金ニ付キマシテハ一箇月五百圓
ノ範圍内ニ於テ拂戻スル、外地デ預
入致シマシタ貯金ノ中ニハ普通ノ貯金
ト軍事郵便貯金ト云フモノガゴザイマ
スガ、普通ノ貯金ハ今申シマシタ一箇
月五百圓、軍事郵便貯金ニ付テハ一
千圓、是ハ併シ一回限り、其ノ外ハ常分
停止、斯ウ云フ取扱ヲ致シテ居リマ
ス、唯併シ外地ニ於ケマシテスツト長
ク、イツ迄モ預入シタモノヲ拂戻スト
云フコトハ、是ハ困ルト云フ其ノ筋ノ
又指令ガアリマシタノデ、十月一日以
降ノ外地デ預入シテ、サウシテ此方ヘ
引揚ゲテ來タ人ニ對シテハ、其ノ分ハ拂
ハナイ、九月三十日以前ニ預入シタモ
ノニ限ツテ月五百圓、軍事郵便貯金ナ
ラバ一回限り千圓、是ハ支拂ツテ宜シ
イト云フノデ、現在モ其ノ方法デヤツ
テ居リマス、外地引揚ノ預金者ノ中ニ
ハ、是デハ非常ニ困ル、五千圓モ六千
圓モ貯金シテ、其ノ中カラ僅ニ月五百
圓、軍事郵便貯金デアリマシタラ千
圓、是デハ困ル、不公平デナイカト云
フヤウナ非難或ハ陳情等ガ參ツテ居
リマシテ、成ル程情ニ於ケマシテハ私
共モ其ノ通りダ、何トカシテ支拂ツテ
上ゲタイト、斯ウ思ツテ居リマスケレ
ドモ、何分ニモ其ノ制限ノ出所ガ、先
程申上ゲマシタ通りノ事情デゴザイマ
スノデ、私共トシテハ今ノ所、如何ト
モ仕樣ガナイ次第デゴザイマス

○板谷順助君 郵便貯金ハ今御話ノ通
リ大藏省ノ預金部關係デ、是ハ大藏省
ノ方デ取扱フベキモノデアルガ、併シ
簡易保險或ハ郵便年金ト言ヒ、同ジ郵
便局ノ關係デアルカラシテ、私ハ萬一
ソレニ對スル投資ガ非常ナ損害ヲ被ツ
タ場合ニ於ケルコトヲ豫想ナサルカト
云フコトヲ曉イタノデスガ、アサナノ
御答辯ハ餘リ要領ヲ得ナイヤウダケレ
ドモ、大體テ承知シマシタ、ソコデ在
外關係ノ、例ヘバ朝鮮、樺太、臺灣ノ
如キ、此ノ郵便貯金ニ對シテ一部受取
ツタ者ト、又其ノ後關係筋ノ命令ニ依
ッテ受取ガ出來ナイト云フ關係ガアツ
テ、此ノ間非常ニ不公平ノヤウニ思フ
ノデアリマスガ、是モ已マラ得ストシ
テ、アトノ詰リ支拂ニ付テ、勿論郵便
貯金ノ如キハ零細ノ金デアツテ、サウ
シテ人々ガ現在非常ニ生活ガ困ツテ居
ル譯デアリマスガ、之ニ付テハ拂戻ニ
付テ其ノ筋ノ了解ヲ得ルコトニ御努力
ニナツテ居リマスガ、或ハ又之ニ對ス
ル將來ノ何方目鼻ガ付イテ居リマス
カ
○政府委員(岡井三郎君) 制限ノ緩
和ニ付キマシテハ、其ノ後ニ於ケマシ
テモ機會アル毎ニ懇請致シテ居リマ
ス、但シ何分ニモ先程申上ゲマシタ通
リ、原則トシテ支拂ツテハイケナイモ
ノダ、但シ郵便貯金ノ特質ニ鑑ミテ、
特ニサウ云フコトヲ許サレテ居ルカ
ラ、ソレ以上ハ絕對ニイケナイト云フ、
今ノ所其ノ筋ノ意向ノヤウデアリマス
ガ、併シ私共ト致シマシテハ、其ノ後
モ出來ルダケ預入者ノ迷惑ノナイヤウ
ニ、制限緩和方ニ付キマシテハ懇請、

努力致シテ居リマス、左様ニ御承知願ヒマス

○板谷順助君 萬一在外關係ノ郵便貯金ガ其ノ繼續結算サレテ、或ハ將來打切ノ問題デモ外、關係ニ於テ起ル場合ニ於テハ、内地ニ於ケル郵便貯金ト同様ニ政府ガ責任ヲ以テ之ヲ拂フコト云フコトニ付テハ、何カ御考ガアリマセヌカ

○政府委員(岡井三郎君) 金ノ面ニ於キマシテハ、私ハドンナ手段ヲ講ジマシテモ支拂フベキデ思ヒマス、唯併シ問題ガ先程カラ中上デマシタ如ク、拂フテケナイケト云フコトハ、是其ノ筋ノ指令ニ依ルモノデアリマスカラ、假令金ガアツテモ政府ノ取扱ニ依ツテ然ルベク支拂フコトハ是ハ致シ難イノデハナイカト思ヒマス、金ノ問題デハドウシテモ指令違反ト云フコトニナリマス

○板谷順助君 逕信關係ハ此ノ程度デ宜ウゴザイマスガ、後引續イテヤツテ宜ウゴザイマスカ

○委員長(男爵古市六三君) ドウゾ……

○板谷順助君 農林大臣ガ御見エニナリマセヌノデ、大藏當局ニ伺ヒタイト思フノデスガ、現在特別會計ノ殘ツテ居ルノガ二十二アルヤウデス、私ハ此ノ内容ヲ拜見致シマス云フト、或程度ハ廢合スベキモノガアルノデハナイカト思フノデアリマス、御承知ノ通り餘リ特別會計ガ多イ爲ニドウモ豫算關係ニ於テ分リニククナツテ居ル、ダカラハ私ハモット特別會計ト云フモノヲ或程度縮メテ、サウシテ一般會計ト統合セテ分リ易クスベキモノデハナイカ、チヨット素人ガ見テモ特別會計ガドウ云フ關係ニナツテ居ルカ分リマ

セヌ、ソレカラ又例ヘバ特別會計ノ目的、内容ガ變更サレタ場合ニ於テ、唯部分的ノ一部ノ改正キタ云フノガ行ハレテ居ルヤウデス、是デハ私ハ段々複雑ニナツテ分リニクナルト思ヒマスカラ、廢止スベキモノハ廢止シ、更ニ立法スベキモノハ立法シテ、是其ノ區分ヲ明カニシタ方ガ却テ前後ノ連絡ヲ考ヘテ見テモ分リ易イヤウニ思フノデアリマスガ、如何デスカ

○政府委員(窪谷直光君) 後二殘存致シマス特別會計ノ數ガ二十二ゴザイマス、其ノ中デ尙廢止シテモ差支ナイモノガアルノデハナイカト云フ御尋デゾザイマスガ、元來特別會計ト申シマスノハ一般會計ニ對シマスル例外デゴザイマスノデ、理想ト致シマスハ少イ程宜イ譯デアリマス、一般會計ヲ見マスレバ國ノ財政活動、國家活動ノ全貌ガ分ルト云フノガ理想ノ姿デアラウト存ジマス、併シナガラ一般會計ノ經費ノ性質カラ申上ゲマス、ドウモ例ヘバ鐵道デアリマス、通信デアリマス、其ノ外ノ或ハ專賣局デアリマス、印刷局デアリマス、サウ云フヤウナ事業ヲ致シマスモノハ、一般會計デ支辨致シマスノハドウモ不適當デアルト云フ風ニ現在ニ於テモ考ヘテ居ル譯デアリマス、唯此ノ中デ今一應問題ニシテ考ヘラレル特別會計ハ、例ヘバ學校ノ特別會計デゴザイマス、是ハ設置ノ趣旨カラ申シマス、學校ニソレレ、資金ノ積立テマシテ、其ノ資金ノ運用ニ依ツテ學校ノ經營ヲヤツテ行ク、サウ云フ時代ニナレバ一般會計カラノ繰入ガナクテモ自立シテヤツテ行ケルト云フ考ヘ方カラ、學校ノ特別會計ガ出來テ居ルノデアリマス、處ガ此ノ學校ノ積立金ハ、ナカ……サウ

自分ノ學校ノ經營スル途ノ資金ノ積立ト云フコトハ非常ニ困難ナ狀況ニゴザイマス、ソレデ是アタリハ特別會計トシテ存積スル必要ガアルカドウカ、相當ニ疑問ノアル特別會計デゴザイマスノデ、目下其ノ存積ニ付テ研究ヲ致シテ居リマス、或ハ昭和二十二年、來年度カラハ或ハ廢止致サウカトモ事務當局トシテ考ヘテ居リマスガ、マダ確定ハ致シテ居リマセヌ、後ノ特別會計ニ付キマシテモ總エ存積ノ理由ニ付キマシテ、事業ノ變更デアリマス、カ或ハ設立當初ノ趣旨ガ無クナツテ居ルト云フモノニ付テハ、絶エズ毎年度其ノ再檢討ヲ致シマシテ、存積ノ研究ヲ致シテ參ツタ次第デゴザイマス、御趣旨ノ點ハ私共全ク同感デゴザイマスノデ、出來ルベク特別會計ノ數ハ少イ方ガ宜イ譯デアリマスガ、目下ノトコロ差當リ更ニ整理スルトシテ考ヘラレルモノハ學校ノ特別會計デアラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○板谷順助君 立法關係ハドウデスカ

○政府委員(窪谷直光君) 是ハ廢止致シマス場合ニハ、現在學校特別會計法ト云フモノガゴザイマスノデ、此ノ法律ヲ廢止致シマセヌト、學校特別會計ハ廢止スルト云フ譯ニハ參ラナイノデアリマス、勿論此ノ點ニ付キマシテハ議會ノ御協議ヲ得ナケレバ出來ナイコトニナツテ居リマス

○板谷順助君 私人御尋ニ致シマシタノハ、例ヘバ食糧管理法ノ如キ當初ノ目的ト現在ノ目的トハ目的ノ内容モ違ツテ來テ居ルト云フヤウナモノハ、唯一部ノ改正ト云フコトデナク、一方ハ廢止スル、一方ハ更ニ立案スルト云フコトガハツキリスルデヤナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマス

○政府委員(窪谷直光君) 食糧管理特別會計ノ前身、先程モ御話ガ出マシタヤウニ米穀需給調節特別會計デアリマス、其ノ時代ニ於テハ米穀需給ノ實態ヲ規定致シテ居リマス法律ガアツタ譯デゴザイマス、ソレニ對照致シマシテ、其ノ法律ノ運用ノ爲ニ米穀需給調節會計ト云フモノガ設置致サレマシタ、先般ソレデ參ツタ譯デアリマスガ、食糧管理法ノ制定ト同時ニ此ノ特別會計ハ一步前進致シマシテ、單純ナル需給ノ調整ト云フコトカラ管理ト云フトコロ迄進シマシタデアリマス、其ノ時ノ改正ノ仕方ヲ致シマシタハ、米穀需給調節特別會計ヲ廢止シテ、食糧管理特別會計ヲ作ルト云フ方法ヲ確カ探ラナイデ、其ノ目的ノ變更致シマシテ其ノ僅存積ニシテ存ズルノデアリマスガ、ソレハ從來モ此ノ米穀需給調節會計ニ於キマシテ、食糧證券デアリマス、ト云フ風ナモノヲ發行致シテ居リマシタノデ、其ノ權利義務ヲ附屬ニ引續イデ行ク上ニモ、或ハ會計ノ運営ヲ圓滑ニ致シマス點カラ考ヘマシテモ、片方ヲ廢止シテ新シイ特別會計ヲ作ルト云フ手續ハ、致サナカッタヤウニ記憶致シテ居リマス

○板谷順助君 今一點大藏當局ニ伺ヒタイノデアリマス、此ノ資料ヲ拜見致シマス、政府出資ノ株式ノ未拂込或ハ當團ノ未拂込相當アリマス、外地關係ハ勿論會社其ノモノハ打切ラレテ居ル譯デアリマスガ、併シ清算事務ニ入ツタ場合ニハ、諸法ノ規定ニ依ツテ未拂込ト云フモノヲ徴收サレテ、又内地ニ於テハ同様デアリマスガ、此ノ整理ニ付テハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ

○政府委員(窪谷直光君) 此ノ外地ノ

會社ノ整理ニ付キマシテハ、聯合軍司令部ノ方トモ連絡致シマシテ其ノ整理ノ方法ヲ目下考究中デアリマス、此ノ後ハ別ノ方法ヲ講ジテ參リマスカ、目下ノトコロ中上デスニ至ツテ居ナイノデアリマス、内地ノ特殊會社ニ付キマシテハ、マダ未拂込ニナツテ居ルモノガ相當ゴザイマス、之ニ付キマシテハ、例ヘバ農地開發團デアリマス、カ或ハ住宅開發團デアリマス、是ハ片方ハ農地開發ノ爲ニ、片方ハ戰災復興ノ住宅建設ノ爲ニ相當ノ資金ガ必要ナ譯デアリマス、昭和二十一年度ノ改定算算ニ於キマシテモ、若干ノ出資拂込金ヲ計上シテ御審議ヲ願フコトニ相成ツテ居ル次第デアリマス、其ノ外ノ特殊會社ニ付キマシテハ、二十一年度ノ出資ノ拂込ヲ必要トスルト云フモノハ、目下ノ處ナインデゴザイマス、將來會社ノ事業ノ狀況ニ依リマシテ、或ハ更ニ拂込徴收ト云フ必要ガ起ラウカト存ジテ居リマス

○板谷順助君 是等ノ内地ノ特殊會社ニ付キマシテハ、御承知ノ通り政府ハ相當ニ補助金ヲ出シテ居ル、處方此ノ補助金ガ打切ラレテ無クナル、從ツテ政府以外ノ株主ガ非常ニ之ニ對スル迷惑ヲ感ズル、所謂政府ノ勸誘ニ依ツテ其ノ當時各方面デソレレ、株ヲ持ツタ、處ガ今度愈々終戰ノ結果、政府ハ補助金ハ打切り、又今後ノ拂込ニ對シテ之ヲ積極ニ是思フハ政府ハヤル意思ノナイト思ヒマス、從ツテ今後會社ヲ活動スルト云フコトニ付キマシテ、政府が出資シタ其ノ株ヲ、ソレヲ打切ツテ、其ノ會社ノ内容ヲ堅實ニスルト云フコトガ私ハ適當ナンデヤナイカト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ對スル

テ、ソレヲ必要ニ應ジテ一般會計ノ方ニ資シテヤル、尙其ノ材料物品ハ大藏省以外ニモ時宜ニ應ジテ賣渡ラシテ宜シト云フコトニ相成リテ居ラシメ、ガ、當時ノ物資ノ需給ガ相當窮乏デゴザイマシタノデ、當初豫期致シタ通りニ賣ハ、參ツテ居ラナイノデ、ゴザイマシ、ソレデ今日ニ於キマシテモ、此ノ特別會計ヲ作ツテ餘剩ノ物品ヲ「バー」ルニスト云フ風ナ餘裕モゴザイマセヌノデ、寧ロイキナリソレハノ經費カラ物資ヲ調達シタ方ガ却ツテ手續ガ簡單ナルト云フ風ナ所カラ、之ヲ廢止致ス、ト致シタ次第デゴザイマス

○子爵松平親義君、ソレカラ第九條デ「國有財産法の一部を次のやうに改正する」、斯ウ云フコトニナツテ、此ノ二十九條ノ第二ニ新シイ規定ガ入ツタ、譯スアリマスガ、此ノ規定ハ是ハ謂ハバ「ツ」ノ經過規定、此ノ修職ニ伴ツテ必要トスル所ノ經過規定ト云フコトデ、將來ニ於テハ此ノ規定ハ必要ガ無クナルト云フコトニ相成ルト思フデアリマス、勿論新憲法ガ制定サレテ、會計法モ改メルト、國有財産法ノ點ニモ根本的ニ變ツタ點ガ來マスカラ、此處デ私ガ御質疑ラシテ無意義ナハ思ヒマス、斯ウ云フ規定デハ、是ハ立法的ノコトヲ同フデアリマスガ、是ハ經過規定デナイカ、斯ウ云フコトハ、

「國有財産法の一部を次のやうに改正する」トシテ財産法ノ中ニ此ノ經過規定ヲ設ケルト云フノハ、何カラカシイ氣ガスルノデアリマス、大抵經過規定ト云フモ、ハ附則カ何カデ持ツテ來ル、或ハ勅令ニ之ヲ委任スルト云フ形ガ多イノデ、ナイカト思ツテ居リマス

人デ、一ツノ形式ノ問題デアリマスガ、一應何ツテ見タイト思ヒマス

○政府委員(加藤八郎君) 御答へ申上ガマス、御話ガゴザイマス、ヤウニ、全ク是ハ今回ダケ斯ウ云フ措置ヲ講ズルト云フ規定デゴザイマシテ、今後此ノ規定ガ生キテ毎年此ノヤウナ措置ヲ執ルト云フ譯デハゴザイマセヌ、色々ノ法律ヲ一ツノ法律ニ纏メテ出スト云フヤウナ措置ヲ執リマシタ關係上、此ノ特別會計ノ廢止ノ法律ノ中ニ便宜上入レタヤウナ次第デゴザイマシテ、特ニ深刻デテヤツタ譯デハゴザイマセヌ

○子爵松平親義君、一應分リマシタガ、形トシテハ私ハカシイト思ヒマス、尙其ノ次ノ十條ニ付テ何ヒタイムデアリマス、此ノ第十條ノ此ノ法律ハ、是ハ矢張り資料ニ依リマシテモ、

「今次ノ戰爭ニ際シ地方鐵道及軌道ノ輸送力ノ確保増強ヲ圖ル等ノ爲メ必要ナル經費及臨時軍事費特別會計」ノ條入金ツテ之ニ充用スベシト云フ、サウ云フ目的ノ下ニ特ニ此ノ法律ガ地方鐵道ニ關スル限リ出來タト思フノデアリマス、詰リ地方鐵道ニ於テノ收入、運費ノ値上ニ依ル所ノ收入、ソレヲ輸送力ノ確保、戰爭ニ際シテノ輸送力、詰リ國家總力ヲ集メテノ戰爭ニ此ノ輸送力ヲ集メテヨツト云フ其ノ爲ニ、此ノ地方鐵道ニ入ツテ來タ收入、之ヲ特ニ臨時軍事費ニ繰入レテ、サウシテ戰爭ノ完結ノ期スルト云フ所カラ此ノ法律ガ私ハ出來タノ點ト思フノデアリマス、處ガ今度ハ勿論臨時軍事費ト云フモノヲ無クシテシマツタ爲ニ、此ノ方ノ收入ハ全部之ヲ一般會計ニ繰入レル、斯ウ云フノデアリマスガ、此ノ法律ノ精神カラ行キマスト、ドウモ一般會計ニ繰入レテモ宜イモノデハナイ

カ、今日恐ラクハ地方鐵道ノ收入ト云フモノハ、今迄此ノ増加シタ收入ヲ戰爭ニ役立タセル爲ニ特ニ之ヲ臨時軍事費ニ繰入レタノデアリマシテ、今日戰爭ガ濟ンダ此ノ狀態ニ於テ、矢張り此ノ地方鐵道ノ收入金ヲ一般會計ニ繰入レシマフト云フコトハ、何カ私ハオカシイヤウナ氣ガスルノデアリマス、是ハ却ツテ運輸省ノ方ニ伺ツタ方ガ宜イト思ヒマスガ、一應大藏當局デ御分リニナル程度デ宜イノデアリマスガ、御説明ヲ戴キタイト思ヒマス

○委員長(男爵古市六三君) 運輸省ノ政府委員カラ御答へガアリマス

○政府委員(郷野基秀君) 上納金ニ關スル法律ニ付キマシテハ、終戦後此ノ法律ヲ此ノ條條イテ置タベキカドウカト云フ點ニ付キマシテ、運輸省ニ於キマシテモ大藏省トモ相談致シマシテ、色々檢討致シタノデゴザイマス、今後ノ事態ニ於キマシテモ矢張り國有鐵道ノ運費變更ニ伴ヒマシテ、地方鐵道ニ於キマシテ、之ガ爲ニ特ニ收入ノ増加スルト云フコトモアリ得ルノデアリマセウシ、又サウ云フ場合ニ地方鐵道軌道ノ相互ニサウ云フ資金ヲ持テコシテ、輸送力増強ノ爲ニ資金ヲ利用シテ行クト云フ、戰時中ニ出來マシタ此ノ制度ヲ廢シテ置キマスルコトガ、矢張り地方鐵道軌道ノ今後ニ於ケル交通機關トシテ使命ヲ達成シテ行ク上ニ於キマシテ必要デアルト云フ風ニ考ヘマシモ、此ノ法律ヲ存置シテ貰フコトニ致シタノデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ際戰爭中ハ臨時軍事費一部繰入レルコトニ相成リテ居リマシタノデ、一部ノ財源ヲ此ノ共同ノ資金カラ除外致シマシテ、國ノ會計ニ當ルカト云フ考ヘ方

ヲ存置致シマシテ、臨時軍事費ガナクナリマシタ關係上、一般會計ニ繰入ル制度ニ改メタ次第デゴザイマス

○子爵松平親義君、ドウモ今ノ御説明ダケデハ私ハハッキリト納得ガ行カナイノデアリマスガ、幸ヒニ運輸省ノ委員ガ御出デニナリマスノデ、モウ少シ説明シテ戴キタイト思ヒマス、私ガ此處デ申上ゲル迄モナク地方鐵道ノ狀況ト云フモノハ、私ガ地方ニ旅行シテ見マシテモ、實ニ氣息奄々タルモノデ、鐵道ノ壽命ト云フモノガ國鐵ヨリ以上ニ情ナイ狀態ニナツテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、我々旅行シテ見マシテモ感ズルコトガ非常ニ多イノデアリマス、デスカラサウ云フ點カラ考ヘテ、詳シク私ハ分リマセヌガ、斯ウ云フ風ナコトハ矢張り地方鐵道ノ收入ヲ地方鐵道ニ然ルベク受入サシテ、地方ハ地方デ然ルベク鐵道ノ普及ヲ圖ラシムルコトガ宜イノデアリマス、之ヲ一般會計ニ取上ゲテシマフ、全部デアリマスカ、一部デアリマスカ、其ノ邊ハ私能ク知ラナイノデアリマスガ、サウ云フコトヲシテ果シテ輸送力ノ確保ガ出來ルカドウカ、終戦後ノ日本ノ復興ト云フコトニ付テ、此ノ物ノ輸送ト云ブコト、是非非常ニ大切ナ事柄デアルト云フコトハ、此處デ私ガ申上ゲル迄モナイコトデアルト思フノデアリマス、此ノ地方鐵道ノ輸送能力増強ト云フヤウナコトニ付テハ運輸省ニ於テハ一體今ドウ御考ヘナツテ居ルノデゴザイマセウカ、御尋ネシテ見タイト思ヒマス

○政府委員(郷野基秀君) 尙先程チコツト申殘シマシタノデ、一言御説明ヲ補足サシテ戴キタイト思ヒマス、此ノ上納金ノ法律ニ付キマシテハ、地方鐵道補助法ガ只今ノ所今年度一杯シカ在

續期限ガゴザイマセヌ、地方鐵道補助法ト併セマシテ、今後ノ地方鐵道ノ助成ノ爲ニドウ云フ法規ヲ整ヘ、ドウ云フ制度ヲ以テマシテヤツテ參リマスカルト云フ點ニ付キマシテ、此ノ上納金ノ制度ト併セマシテ檢討ヲ加ヘテ、今後ノ處置ニ付キマシテ只今研究ヲ致シタ居ル次第デゴザイマス、尙地方鐵道、軌道ノ只今ノ輸送ノ運賃ノ狀態ニ付キマシテ御話ガゴザイマシタガ、地方鐵道、軌道ニ付キマシテモ、只今國有鐵道ガ赤字ノ問題ニ付キマシテ情シテ居リマスルト同様、鐵道ノ所要ノ資材ニ付キマシテハ、最近著シイ價格ノ昂騰ガゴザイマシタシ、昨年ノ暮以來從業員ノ給與、待遇ニ付キマシテモ急速ニ改善シテ參ラナケレバナラナイモノガゴザイマシテ、斯ウ云フ點カラ見マシテ、戰災ノ痛手ヲ急速ニ復舊シ、輸送力ヲ整備シテ行ク上ニ於キマシテ、運賃上ノ非常ナ情シタ持ツテ居リマス、此ノ上納金ノ法律、或ハ地方鐵道補助法等ヲ運用致シマシテ、今後ノ助成方法ニ付キマシテ十分ノ檢討ヲ遂ゲ、對策ヲ立テテ參ラナケレバナラナイト考ヘテ居リマスガ、尙個々ノ地方鐵道ニ付キマシテ必要ナ運費改正モ終戦後認メテ居リマシテ、資材ノ調達、其ノ他ノ方面ニ付キマシテ出來ルダケ轉換モ致シマシテ、國有鐵道ト共ニ、地方鐵道ガ輸送力増強ニ今後ニ於キマシテモ進ンデ行キマスルヤウニ、色々ナ方面カラ對策ヲ講ジ、實施致シテ居ル次第デゴザイマス

○子爵松平親義君、電テ何ヒマスケレドモ、今御話ノ地方鐵道補助法ノ法律、ソレカラ此ノ第十條ノ此ノ法律、之ヲ併セテ、何カ地方鐵道ヲ助成スルト云フカ、地方鐵道ノ輸送力ヲ上ゲル

ト云フコトニ付テ必要ナ立法、サウ云フモノヲ此ノ多ノ議會ニデモ又御提出ニナル御考デアリマセウカ、サウ云フコトヲ今此處デ私ガ伺フノハ、ドウモ斯ウヤツテ一般會計ニ繰入レテシマフ、サウシテ其ノ金ヲ一般會計ニ唯使ツテシマフト云フヤウナコトハ、ドウモ地方鐵道ニ少シ酷ナヤウナ氣ガスルノデアリマス、戰爭デアラナラバ是ハ分リマスガ、今日戰爭ノ終了シタ際、殊ニ是カラハ地方分權ト云ツタヤウナコトデ、ソレハ地方々々ニ或程度仕事ヲ委シテヤルト云フヤウナ行キ方ニ、段々ナツテ來タヤウナ傾ガアルノデ、サウ云フ點カラ考ヘテモ、斯ウ云フコトヲ矢張り何デモ中央ニ一過之ヲ持ツテ來ナケレバ、イカスト云フヤウナ、サウ云フ氣持デ此ノ地方鐵道ヲ考ヘルト云フコトハ、私ハ一ツ考ヘテ見ナケレバナラヌコトデアルト思フノデアリマス、ソレハ兎ニ角トシテ、サウ云フ風ナコトデアリマスノデ、此ノ今御話タ補助法或ハ此ノ第十條ノ二十年法律第十九號ノヤウナ措置、ソレヲ引括メテ、將來何カ茲ニ地方鐵道ニ關スル新シイ立法ヲ設ケラレルト云フヤウナコトデアリマスノデスカ

○政府委員(郷野基秀君) 御答へ致シマス、地方鐵道補助法ガ、何レニ致シマシテモ來年度以降只今ノ補助法ヲ適用シテ參リマスルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマスルノデ、上納金ノ法律ト併セマシテ、此ノ地方鐵道補助ニ關シテドウ云フヤリ方デ行クカト云フコトヲ研究致シマシテ、次ノ議會ニ何カ之ニ關スル法律案ガ出ルコトニナルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○板谷順助君 只今ノ御質問ト關聯シテ伺ヒマスガ、今御話ノ通り兎ニ角一

般會計ニ繰入レテ、僅カ繰入レテ、一般會計カラ大キク取ル、ダカラシテ例ヘバ鐵道、通信ノ如キモノガ特別會計ヲ排ヘタ趣意ハ、從來其ノ益金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入レル、斯ウ云フ建前デ出來テ居ル、ソレハ今度御承知ノ通り赤字ガダン／＼生レルヤウナコトカラ、ドウモ此ノ特別會計ノ基礎ガ崩レテ、サウシテ今度ノ改正ノ内容ガチロツト見テモ分ラヌ、ダカラシテ大體ドウ云フヤウナ點ガ詰リ此ノ改正ノ目的デアルカト云フコトヲ、若シ御分リマスカラハツキリ一ツ御話ヲ願ヒタイト云フコトト、ソレカラ聞ク所ニ依ルト、十四億ノ赤字ガ出テ居ルト云フコトデアリマスガ、御承知ノ通り運賃モ此ノ春以來値上デサレテ、又更ニ値上ノ問題モ起ツテ居ルガ、交通機關モ殆ト今ノ所デハ整備モ碌ニ出來テ居ラヌト云フヤウナ狀態デ、或ハ給與其ノ他ノ關係デ斯ウ云フ赤字ガ出タノカ、十四億ト云フトナカ／＼大キナ數字デゴザイマスカラ、一番赤字ノ主ナル原因ハ何處ニアリマスカ、若シ御分リデアツタナラバ御示シテ願ヒタイ

○政府委員(郷野基秀君) 鐵道會計ニ於キマシテハ、昭和二十年年度ニ至リマシテ、初メテ收益勘定ニ大キナ赤字デ出スト云フコトニナリマシテ、二十年年度ニ於キマシテハ、借入金ヲ以チマシテ收益勘定ノ赤字ノ補填ヲ致シマシテ、今年ノ三月ニ旅客運賃ニ倍半、貨物三倍ノ運賃改正ヲ致シタノデゴザイマスルガ、大體此ノ三月ニ於キマシテ實施致シマシタ運賃改正ハ、昭和二十年ノ十二月頃ノ物價ノ水準ニ依リ、又給與ノ關係ニ於キマシテモ、臨時手當給與令ノ關係ナドモ十分ニ見込シテナイ處出ヲ豫想致シマシテ、之ニ對シマシテ必要ナ財源ヲ得ル爲ニ約五十四億、一年間ノ運輸收入約五十四億ト云フモノヲ目標トシテ運賃ノ改正ヲ致シタノデゴザイマス、處ガ三月ニ於キマシテ物價ノ基準方更ニ改訂ニナリマシテ、石炭ノ如キハ十二月ニ「トン」八十五圓ニナリマシタモノガ、更ニ百五十圓ニナル、其ノ他ノ物資ニ付キマシテモ、鐵道關係ノ資材ニ付キマシテハ相當大額ノ價格ノ改訂ガゴザイマシタ、從ヒマシテ本年度ニ於キマシテ、更ニ又今度議會ニ提出ニナリマスル改定預算ニ於キマシテ約十四億程度ノ赤字ヲ見ルヤウナツテ居リマスルガ、是ハ三月ニ於ケル物價ノ基準ノ改訂並ニ三月ニ於ケル臨時手當ノ關係、斯ウ云フ關係カラ致シマシテ、物價騰貴並ニ給與ノ關係ノ經費ガ殖エマシタノガ大キナ原因デゴザイマス、尙併シナガラ鐵道會計ノ收益勘定ニ於キマシテハ、今後ニ於キマシテモ、六月以降ノ臨時手當ノ増額、又七月カラ實施セラレルコトニ相成ツテ居リマスル給與ノアル外、尙又、三月以後ニ於キマシテ大キナ物資ニ付キマシテ、主要ノ資材ニ付キマシテハ公道價格ハマダ改訂ヲ見テ居リマセウガ、コマル、致シマシタ物ニ付キマシテ相當價格ノ上ツテ來テ居ルモノモゴザイマス、サウ云フ點ヲ考ヘテ見マスルト、本年度中ニ石炭ノ補給金ガ消費者ニ轉嫁サレルト云フコトニナリマスレバ、ソレダケ赤字ガ殖エルコトニナルト思ヒマスルガ、大體三十二億程度ノ赤字ガ出ルノデハナイカト豫想致シテ居リマス、尙其ノ同ジ考ヘ方テ來年度ヲ推定致シマスルト、此ノ儘デハ四十數億ノ赤字ガ收益勘定ニ於テ出ルヤウニ考ヘラレ

マス、鐵道ノ運賃ハ、昭和十一年ヲ基準ト致シマシテ、他ノ諸物價ノ昂騰ト比較致シテ見マスルト、現在ノ所尙非常ニ運賃ハ低水準ニ置カレテ居ルヤウニ考ヘマス、從ヒマシテ今回鐵道會議答申ニ相成リマシタ旅客運賃二割五分、貨物三割程度ノ運賃値上ヲ實施スルト致シマシテモ、昭和十一年ノ百ト致シマシテ旅客ガ六十六、貨物ガ九百程度ノ指數ニナルノデゴザイマシテ、他ノ物價ノ水準カラ見マスレバ必ズシモ高イトハ言ヒ得ナイト存ズルノデアリマス、從ヒマシテ一應此處デ他ノ物價トノ鈎合ヲ此ノ程度ニ取リマシテ、今後國家ノ執リマスル經濟、財政ノ政策ニ依リマシテ物價ガ安定致シ、此ノ運賃ヲ維持スル必要ガナクナリマシタナラバ、適當ナ時期ニ出來ルダケ早ク又運賃モ下ゲルト云フヤウナコトモ考ヘマシテ、尙一面、是ダケノ運賃値上モシナケレバナラナイヤウナ狀態デゴザイマスルノデ、先ヅ以テ經營ノ合理化ニ付キマシテハ、現在モ既ニ相當ノ努力ヲ致シテ居リマスルガ、今後ニ於テモ大ニ其ノ徹底ヲ圖ル、尙資材其ノ他ノ關係ニ於キマシテモ、非常ニ窮乏デハゴザイマスルガ、戰災ノ復舊モ急速ニ致シマシテ、「サービス」ノ向上モ今後ニ於キマシテ一段ノ努力ヲ傾ケルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○伯爵金子武賢君 今ノ御話デ、鐵道運賃値上ノコトモ承知致シテ居リマスガ、大藏省ナリ商工省ナリモ御賛成ニナツテ實行ニナルノデゴザイマセウネ

○政府委員(郷野基秀君) 運輸大臣カラ鐵道會議ニ、鐵道ノ收支改善方策、特ニ運賃値上ノ方策ニ對シマシテ諮問ガゴザイマシテ、之ニ對シマシテ、昨日鐵道會議カラ、運賃値上モ已ムヲ得ナイガ、運賃値上ヲスルニ當リマシテハ、只今申上デマシタヤウニ、經營ノ合理化ヲ更ニ徹底スルコト、ソレカラ「サービス」ノ向上ニ一段ノ努力ヲスルコト、尙運賃ヲ引下ゲ得ルヤウナ時期ニナリマシタナラバ速カニ引下ゲルト云フコトモ考慮スルト云フヤウナ條件ヲ付セラレマシテ、運賃値上モ已ムヲ得ナイデアラウト云フ答申ヲ戴イタリデアリマスルガ、大體只今迄ノ所、今度議會ニ御提出ニナリマスル改定預算ニ於キマシテ、約十四億ノ運賃値上ニ依ル增收ヲ取敢ヘズ見込シテ居ルノデアリマスルガ、此ノ運賃値上ヲスルコトニ付キマシテハ、既ニ大體閣議ニ於キマシテ方針ハ決メラレテ居リマス、今後運賃値上ノ時期ニ付キマシテハ、鐵道會議ニ於キマシテモ、他ノ施策ト共ニ運輸大臣ノ責任ニ於テ決メテ實施スルコトヲ答申モゴザイマシタノデ、此ノ時期ニ關シマシテハ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、更ニ慎重ナル考慮ガ拂ハレルト存ジテ居リマス

○伯爵金子武賢君 サウシマス、今後此ノ鐵道運賃ノ値上リ分ト云フモノガ其ノ他ノ色々ノ製品ノ値上リニ入ツテ來ル譯デアリマスネ、サウナリマス

ト、例ヘバ、細カイコトヲ申上デテ相濟マナイケレドモ、生産原價ヲ商工省若タハ農林省、サウ云フ所ヲ通ジテ大藏省ノ物價局アタリニ申上ゲルト、割合ニ抑ヘル方ガ急デ、鐵道運賃トカ、モウ一ツハ通信費、サウ云フヤウナ値上リ分ガ公道價格ノ改訂ノ時ニ何時デモブツカルノデアリマス、大藏省物價局トシテハ成ルベク上ゲタクナイ、斯ウ云フ御意見、サウ云フ譯デアリマスカラ、今後運賃トカ、斯ウ云フ官業ノ

値上ヲ御計畫ニナシテ御實行ニナル際ハ、大藏省ノ物價局アタリト能ク御了解ヲ願フテヤツテ藏カナイト、是カラ段々物ヲ生産シテ行カナクレバナラナイ時ニ非常ニ支障ニナルコトガアルト思フノデス、其ノ點ハ能ク御實行ニナル場合ニ大藏省ノ物價ノ擔當ノ方ト御打合ハスツテ、十分御了解ノ下ニ御實行願ヒタイ、イッモ了解ガ足りナイヤウナシデス、私ノ方ハ餘リ贊成デヤナイケレドモ、運輸省ガヤツタノデカラ仕方ガナイト云フヤウナ無責任ノコトモ從來アリマスカラ、ドウカ其ノ邊ノ所ヲ十分是カラ生産増強ニ向ツテ行ク必要ノ際デス、此ノ官業ノ値上ト云フモノハ必然ノ物價面ニ寄リマスカラ、其ノ點ノ御了解ヲ十分御連絡願ヒタイト云フコトヲ希望シテ申上ゲテ置キマス

○松本勝太郎君 大藏省ノ政府委員ニチヨク御伺ヒ致シマスルガ、朝鮮總督府、臺灣總督府、其ノ他關東廳カラ南洋廳、斯ウ云フ特別會計ニ屬シテ居リマスル所ノ政府直接ノ未拂金ノ額ガドウノ位ノ額ニ上ツテ居ルカト云フコトヲ、分ツテ居レバ御示シ願ヒタイノデアリマス、尤モ特殊會計ノ辨償トカ賠償トカ云フヤウナモノデナクツテ、政府直接ノモノデケデ結構ダト思ヒマス

○政府委員(窪谷直光君) 御尋ノ點ニ付キマシテハ、先般モチヨット申上ゲマシタヤウニ、甚ダ遺憾デゴザイマスガ、目下ノ所不明ナ狀況デアリマス

○黒田英雄君 私脇ハ參ツテ居リマシテ、私ガ御尋ニシヨウト思ツタ問題ニ付テ御答ガアツタノデハナйкаト、御答辯中ノ終ヒデケ伺ツテサウ感ジマシタカラ、若シ政府ノサウ云フ趣旨ノ御答辯ガアリマシタラ、簡單デ宜シイノ

デスガ御答辯願ヒタイノデス、私ハ大體此ノ特別會計ヲ整理サレト云フコトハ大イニ贊成ナンデスガ、外地トカ、或ハ陸海軍ノ關係デナイ關係ニ付テノ整理ハ、政府出資特別會計トカ、營繕用品資金特別會計ト云フヤウナモノデ示サレテ居リマスガ、是等ノモノハ、殊ニ營繕用品資金特別會計ノ如キハ昭和十八年ニ制定サレタノデ、誠ニ最近ニ排ヘラレタモノデアリマスガ、今日之ヲ廢止サレヨウト云フノハ、設定スル時ノ趣旨、目的ガ違セラレナイト云フ、詰リ簡單ニ言ヘバ、コンナモノヲ設ケタノハ甚ダ失敗デアツタト云フヤウニ感ジラレテ廢メラレルノデスカ、其ノ當時ハソレデケノ必要ガアツテ、之ヲヤレバ物資ノ確保ヲ圓滑ニ行キ、或ハ經濟的ニモ國家ノ支出ヲ少クスルコトガ出來ルトカ、色々ナ利益ガアツタノデアリマスルカ、或ハ會計ヲ設ケタガ全然其ノ目的モ達セラレナイ、失敗デアツタカ此ノ際廢メルト云フヤウナ趣意デアリマスルカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(窪谷直光君) 營繕用品資金特別會計ハ是ハ極ク最近ニ設置ヲ致シマシタ特別會計デアリマシテ、又兩三年シテカラ直グ廢止ヲシナケレバナラナイト云フコトニ相成ツタノデアリマシテ、當初ノ目的カラ申シマス、此處デ營繕用品ヲ買ツテ貯藏ヲ致シマシテ、必要ニ應ジテ一般會計ナリ、特別會計ナリニ變拂ツテ事業ヲ行ツテ行クト云フコトデアツタ謂デアリマスガ、實際ノ運用ノ狀況ヲ見テ參リマス、ドウモ豫期シタヤウニ動カナイト云フノガ、甚ダ残念デゴザイマスケレドモ、實情デゴザイマシテ、今後之ヲ更ニ改善ヲ致シテ行ケル見込

モドウカ立チ兼ヘマスノデ、斯ウ云フ特別會計ヲ通シテ買フヨリモ、寧ロソレゾレノ經費直接ニ所屬トスル物品ヲ買ツテ事業ヲ行ツテ行ツタ方ガ簡明デアルト云フヤウナコトカラ、廢止ヲ致スコトニ致シタ譯デアリマス

○黒田英雄君 ソレデハ、要スルニ此ノ法律ヲ排ヘタコトハ失敗デアツタト云フコトニナルト思ヒマスルガ、實際ノ運用ニ於テ、五百萬圓トナツテ居リマスルガ、是ハドレ位御使ヒニナツタノデアリマスカ

○政府委員(窪谷直光君) 今五百萬圓ノ資金ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスガ、昭和二十年年度ニ於キマシテ幾ラノ買入ヲ致シマシタカト申シマス、約三百萬圓程度シカ買入ヲ致シテ居リマセス、ソレカラ後十九年度アタリニ於テ買ヒマシタモノノバズツト續ケテ持ツテ參ツタモノモ若干ゴザイマスケレドモ、戰災デ相當損失致シタモノガゴザイマシテ、缺損ヲ若干生ジテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、精々二、三百萬圓程度ノ事業分置シカ致シテ居リマセヌノデ、此ノ程度ノコトデハ當初ノ特別會計ヲ設ケタ趣旨ニモ合致シマセヌ、マア率直ニ申シマスレバ、是ハ半バ失敗デアツタト云フヤウナコトカトモ存ズル次第デアリマス

○黒田英雄君 モウ一ツ伺ヒマス、政府出資特別會計ノ方デ、之ヲ廢止致シマス、持ツテ居リマスル有價證券ノ出資ハ、各省ニソレノ分ケラレルノデスカ、或ハソレハ矢張り大藏省ガ管理サレコトニナルノデスカ

○政府委員(窪谷直光君) ソレハ特別會計ヲ廢止致シマシテモ、從來同様ニ大藏省デ管理ヲ致スコトニ相成ツテ居リマス、具體的ニハ、國有財産部ノ方

デ從來モ管理ヲ致シテ居ツタノデアリマスガ、矢張り同様ニ管理ヲ致シテ參ルト云フコトニナツテ居リマス

○男爵多龍三郎君 政府出資特別會計ノ明細表ヲ拜見致シマス、株式ニ相當未拂込ガゴザイマスガ、補償打切、其ノ他ノ場合ニ、此ノ未拂込ハ如何御處理セラルノデスカ

○政府委員(窪谷直光君) 是ハ外地ノ會社ニ付キマシテハ關係方面ト關係モゴザイマスノデ、ドウ云フ風ニ此ノ整理ヲ付ケテ參リマス、目下ノ所申上ゲル迄ニ至ツテ居ラナイノデゴザイマス、補償ノ打切ノ關係デ、内地ノ問題ニ付キマシテモ、相當ニ影響ヲ受ケル所ガアラウカト思ヒマスルガ、是ハ一雙ノ補償打切ニ伴ヒマス措置ト同様ニ處理サレルコトニ相成ルデアラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○板谷順助君 今ノ問題ニ付キマシテハ、私先程質問シタノデアリマスガ、一般ノ補償打切ニ合セテ處理サスルト云フ御話デアリマスガ、御承知ノ通り一般ノ會社ハ所謂財産稅ト云フモノラ或程度ニ取ラレマス、サウスルト、政府ハ如何ニ株式ヲ持ツテ居ルカラト云フコトモ別ニ財産稅ヲ納メルト云フコトハナイト思ヒマス、其ノ點カラ行キマシテ、私ガ先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ株式ヲ一般補償ノ打切ト同様ノ意味ニ於テ取扱フコトハ、政府ノ態度トシテハ甚ダ不都合ダ、私ガ先程申上ゲマシタヤウニ、會社ノ内容ノ如何ニ依ツテハ色々ナ違ヒモアリマセウガ、ソレヲ一般株式ヲ打切ルト云フコトハドウカト思ヒマスケレドモ、其ノ邊ハ適當ニ按排シテ、政府ガ財産稅ヲ取ラレルト同時ニ、或程度迄株式ヲ打切ツテ、サウシテ其ノ殘ツタ會社ノ堅

實ナル發達ヲ圖ルト同時ニ、補償金ハ打切ラレ、株價ハ暴落ヲスル現在デアリマスカラ、或程度迄株主ニ對シテモ相當ニ利益ヲ與ヘル、利益ニナラヌデモ大シタ損失ニナラヌヤウニ施策ヲ執ルノガ當然政府ノ責任デヤナイカ、斯ウ私ハ考ヘルデアリマス、從ツテ、アナタニ伺ツテ甚ダ失禮デアリマスガ、兎ニ角此ノ委員會ノ空氣、委員會ノ發言デ斯ウ云フ意見ガアツタト云フコトヲ十分御檢討ニナツテ、大臣、次官アタリト御協議ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ考ヘデアリマスカラ一ツ……

○政府委員(窪谷直光君) 御意見ノ程ハ、十分上司ニ申傳ヘマス

○板谷順助君 此ノ法案ノ改正ニ付テ、重大ナ件ニ付テドウシテモ農林大臣ニ質問セバナラヌノデアリマスガ、若シ農林大臣ガ差支ヘ……兎ニ角衆議院モ別ニ何等差ガアル譯ハナイノデ、此ノ法案審議ノ上ニ於キマシテ、何トシテモ農林大臣直接ニ聽カナケレバナラヌ必要ガアリマスカラ、若シドウシテモ來ラレナイナラバ、ドウカ此ノ委員會ヲ延期シテデモ一ツ御取計ヒテ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(男爵古市六三君) 農林大臣ガ只今直グお見エニナルサウデアリマス

○政府委員(加藤八郎君) 先程國有財産法ノ二十九條ノ關係ノ御質問デアリマシタ際ニ、是ハ國有財産法ノ改正トシテ出スベキモノデアツテ、會計法ノ廢止ニ關スル法案トシテ出スノハ適當デアリノデハナイカ、ト云フ御質問ダト伺ツテ御返答申上ゲタノデアリマスガ、今伺ツテ見マス、ソレハ本文ノ改正デハナイ、附則ノ改正デアルベキダ、ソレデ此ノ會計法ノ廢止ニ入レテ

出スコト自體を惡イノデハナイケレド
モ、本文改正デナシニ、附則改正デヤ
ルベキダト云フ御話ダサウデアリマス
カラ、チヨット補足シテ置キタイと思
ヒマス、二十九條ノ規定ハ國有財産法
ノ附則ニナツテ居リマスノデ、御趣旨
ノ點ハ附則改正ノ點ト一致スルと思ヒ
マスカラ、其ノ點ダケヲ申上ガテ置キ
マス

○板谷順助君 私ハ農林大臣ニ對シテ
食糧政策ニ付テ御尋ね致シタイ點ハ多
クアリマスケレドモ、大臣モ豫算總會
其ノ他御忙シイデアリ、又時間
ガ多シマシテ委員各位ニモ御迷惑カト
存ジマスノデ、此ノ改正法案ニ現レマ
シタ二三ノ點ニ付テ御尋ね致シマス、
ドウカ暫ク御辛抱ニナツテ御答アラム
コトヲ願ヒマス、今度ノ改正案ニ依リ
マス、當分ノ間供養上ノ損失ヲ補填
スル意味ニ於テ一般會計カラ食糧管理
特別會計ニ對シテ補填スル、現ニ四
十五億ガ計上サレテ一般會計カラ之ヲ
補填サレルトゴトニナツテ居ルノデアリ
マス、又明年度ノ豫算ニハ二十億圓ノ
主要食糧費ガ計上サレテアル、ソコデ
私ハ御尋ね致シタイコトハ、大體米穀
特別會計ガ作ラレタ動機ハ、大正カラ
昭和ニ掛ケテ米ガ非常ニ安イ、農家ガ
殆ド困ル、或ル年ノ如キハ、或ハ御計
憶ガアルデアリマセウガ、政府ガ幾ラ
買上ラ致シマシテ之ニ對スル所ノ需給
調整ヲ圖ラウ、價格ノ調整ヲ圖ラウト
云ツテモ、ナカ、値段ガ安クナツテ
止マラナイ、場合ニ依ツテハ海ニ棄テ
ル、或ハ燒キ棄テルト云フ迄ノ極端ナ
年ガアツタデアリマス、「インド」方
面ニ米ガ足りナイト云フノデ、「イン
ド」ニ輸出ヲ試ミタコトモアル、所ガ
「インド」人ハ御承知ノ通り手デ食フノ

デアツテ、日本ノ米ノ如キハ精リガ強
クテ手ニ絡マツテ適シナイト云フヤウ
ナコトデ、是モ失敗ニ終リタコトガア
ル、所ガ其ノ當時ハ詰リ生産者ヲ保護
スル、生産者ヲ救済スルト云フ建前ニ
於テ此ノ法案ガ生レタ、ソコデ詰リ出
盛リノ時分ニ米ヲ出來ルダケ政府ハ買
ツテ、サウシテ適當ノ時期ニ金利或ハ
倉敷其ノ他ノ計算ヲシテ、サウシテ此
ノ特別會計ノ收支ヲ價フ、是ガ大體ノ
趣旨ナデアアル、所ガ此ノ案ハ意ノ如
クナラズ、其ノ後此ノ特別會計ト云フ
モノハ赤字ニナリテ遂ニ此ノ目的ヲ
達スルコトノ出來ナカクゴトハ御承
知ノ通りデアアル、所ガ今同ノ此ノ法案
ハ、要スルニ生産者ハ供出米ノ値段ガ
安イ、是デハ引合ハナイ、何モ生産者
ヲ保護スルコト云フ性質ノモノデナイ、
一面ニ於テ政府ノ度政府ガ補給金ヲ出
シテ、サウシテ之ニ依ツテ消費者ヲ保護
スルト云フ、ソノ現在ノ立場ナデアアル、
サウスルト云フ、當分ノ間此ノ特
別會計ノ損失ヲ補填スル爲ニ一般會計カ
ラ補充スルト云フ、其ノ當分ト云フハ
ドウ云フノデアアルカ、將來ニ於テ特別
會計ト云フノハ、果シテ自給自足ノ見
込ガアツテ斯ウ云フ改正ヲナサルノ
カ、或ハ又四十五億ノ赤字ヲ補填スル
ト云フコトニ付テハ、是ハ財政上重大
問題デアアル、一般會計カラ此ノ損失ヲ
補填スルコト云フノデアアルガ、一體此ノ
金ハドウ云フ方面ニ使ハレルカ、恐ラ
ク補給金モアルデセウ、或ハ又大部分
ハ私人件費ガ膨大ナルモノデアナイ
カト思フノデアリマスガ、今申上ガマ
スル通り、此ノ特別會計ガ作ラレタ其
ノ時ニ於ケル目的ガ違フ、此ノ點ニ付
テドウ御考ヘニナルカ、或ハ又四十五
億ノ損失ト云フモノノ内譯ハ一體ドウ

ナツテ居ルカ、先ツ第一ニ此ノ點又極
ヒタイ
○國務大臣(和田博雄君) 四十五億ノ
内譯ハ、資料ヲ持ツテ參リマセマデシ
タカラ、何レ資料ヲ持ツテ來マシテ御
答ヘ致シタイと思ヒマスガ、是ハ特別
會計ニナツテ居リマス、結局今ノ
食糧事情カラ言フテ見マシテモ、此處
暫クノ間日本ノ食糧事情ガサウ急激ニ
圓滑ニナルト云フコトモナク、考ヘ
ニタイダラウト私ハ思フノデアリマ
ス、殊ニ來年度ハ、現在製作ガ傳ヘラ
レテ居リマスガ、來年度ヲ取ツテ見マ
シテモ矢張り絶對的ニハ或程度ノ輸入
ヲ仰ガナケレバナラナイヤウナ事情ナ
ラデアリマス、特別會計ガ出來マシ
タ時ニハ、ソレハ生産者保護、斯ウ云
フヤウナ建前ガ方強カッタ譯デアリマ
スガ、併シ食糧政策ガ生産者方消費
者方ト兩方見合ツテ行ク譯デア
リマシテ、其ノ時々事情ニ依ツ
テトチラノ面ガ表面ニ出ルカト云フコ
トガ變ツテ來ラダラウト思フノデアリ
マス、勿論現在ノ食糧政策ト雖モ、供
出價格其ノ他ノ點ニ付テ十分生産者側
カラ考ヘテ決定致スノデアリマシテ、
ソレヲヤリマス同時ニ消費者側モ
考ヘテ、消費者ヘノ價格ヲ決定シテ行
クト云フコトニナツテ行クノデアリマシ
テ、從ツテドウシテモ、生産者カラ假
ニ高ク買ヒマシテモ、或程度ハ消費者
ノ生活ヲ考ヘテ消費者ニ安ク賣ツテヤ
ラナケレバナラヌト云フヤウナ政策ヲ
執ラザルヲ得ナイ譯デアリマシテ、今
ノヤウナ食糧事情ガ續キマス限りハ、
是ハ當分已ムヲ得ナイコトト考ヘテ居
リマス

○板谷順助君 私ハサウハ考ヘテ居
マセヌ、大體四十五億ノ赤字ト云フモ
ウカ、果シテ有テ使ヘラダラウト
現ニ角國家ノ負擔トシテ此ノ金ヲ補填
スルト云フコトニ付テハ、生産者、消
費者或ハ又國民一般ガ之ニ對スル相當
ノ利益ヲ得テ居ル、處ガ今御話ノ如ク
米源ノ供給調節ヲ圖ル意味ニ於テ、現
在ノ配給制度ガ五百圓生活ヲ満足シ得
ル配給ガアレバ別問題デアリマス、處
ガ此ノ公定價格ガ、恐ラクハ昨年度收
ノ際ニ於テ之ヲ一升二圓程度ニ於テ引
上ゲタナラバ、恐ラク今強權發動デア
ルトカ、或ハ農村ガ米ヲ出ストカ出サ
ナイトカト云フヤウナ騒ギヲセマデモ
濟ンダト思フ、併シ是ハ後ノ祭デアリ
マス、成ル程主食ハ現在ノ公定ニ依ツ
テ、一石三百圓ニ依ツテ一般ノ消費者
ハ之ヲ受ケマスケレドモ、其ノ結果、
一體圓ハドウナルカ、殆ド圓ガ二十倍
以上ノ値段ニナツテ居ツテ、此ノ公定
價格ガアル爲ニ、或ハ供給ガ十分デナ
イガ爲ニ、御承知ノ通り五百圓生活デ
ハ到底食ツテ行ケヌト云フ意味デ、如
何ナル者ト雖モ此ノ高價米ヲ買ハナ
ケレバ食ツテ行ケナイ、此ノ點ガ一升
六十圓、七十圓ニナツタ原因ト云フモ
ノハ一體何處ニアルカ、勿論色々惡性
「インフレ」影響ハ受ケテ居ルデアリ
マセウ、併シナガラ私共ハ從來ノ經驗
カラ行キマス、大體物價ノ基準ト云
フモノハ米價ヲ基準トナツテ、之ニ約
合ガ取レルヤウナコトニ考ヘテ居ル、
處ガ四十五億ノ赤字ヲ出シテ一部ノ主
食ガ成ル程公定價格ト多少安ク手ニ入
ルガ、現在ニ於テハ運配、配給デ非常
ニ國民一般ガ苦シメデ居ル、併シ其ノ
反面ニ於テ、今申上ゲル通り非常ナ高
イ値段ヲ出シテ補充シナケレバナラヌ
ト云フヤウナ問題ガ起ツテ居ル、ソコ

デ私共此ノ問題ノ解決ト云フコトニ付
テハ、要スルニ自由經濟、或ハ計畫經
濟デ以テ色々議論ハアリマセウ、議論
ハアリマセウガ、新聞デ拜見スルト、
供出ガ或程度濟ンダ後ニ於テ米ヲ自由
販賣ニスルコトニ付テノ衆議院ノ豫算
總會ニ於ケルアナタノ之ニ對スル御返
答ハ、特殊ノモノニ流レテ居ル、是ハ
一體ドウ云フ意味ニ於ケル御答デアリ
マスカ
○國務大臣(和田博雄君) 私ハ斯ウ云
フヤウニ實ハ考ヘルノデアリマス、冷
酷ナ數字の今日本ノ食糧ヲ考ヘマス
ルト、供給數量ト需給數量トヲ考ヘテ
見マシタ時ニ、供給數量ハ絶對的ニ足
リマセヌ、併シ經濟デスカラ、冷酷ナ
數字ダケヲ突合シテ足ル足ラヌト云フ
議論ダケハ濟マナイノデアリマシ
テ、矢張り各國民ガソレレノ所得ヲ
持ツテ居ツテ、其ノ所得ノ中カラ主要
食糧ヲ買ツタリ、其ノ他ノ必需品ヲ買
ツテ生活ヲ致シテ居ル譯デアリマス、政
府ガヤツテ居リマスルコトハ、兎ニ角國
民ニ主要食糧其ノ他ノ食糧品ヲ確保ラシ
マシテ、確實ニ配給致シマシテ、食糧ニ
付テハ兎ニ角各所得ノ者モ或同ジヤウ
ニ安心シテ居レルト云フヤウナコトヲ
目標ニシテ、食糧政策ヲヤツテ居ル譯
デアリマス、處ガ不幸ニシテ御承知ノ
ヤウニ、非常ニ食糧ノ事情モ惡ク、又
供出ノ方モ惡ク、政府ノ操作トシテ
必要ナモノヲ十分ニ又的確ニ得ラレマ
セヌガ爲ニ、ソコニ運配ガ起リ、缺配
ガ起ツタ其ノ結果、國民ハ生キル爲ニ
ソレレノ間ト云フモノニ流レテ行ク
タ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデア
リマス、ソレナラバ、斯ウ云フ窮乏ノ
經濟ノ時ニ全部統制ヲ外シテシマツタ
ラドウカト云フ極端ナ場合ヲ考ヘテ見

マスト、恐ラク私ハ資産ノアリ、所得ノアル者ダケハ食ヘテ、サウデナイ所得ノナイ一般ノ人達ハ飢エルト思ヒマス、是ハ國ノ政治トシテハ何處迄モ避クベキダト思フ、ソレナラバ供出シテシマツタ後ヲ自由ニ販賣シタラドカ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、元々ハ絶對的ナ量ガ足りナイシ、日本人ノ勞働者ノ平均ノ必要ナニ千二百「カロリー」ト云フモノスラ得ルニ足リナイヤウナ事情ノ下ニ於キマシテ、自由ニ販賣ヲ許スト云フコト、一面カラ申シマスレバ、恐ラク買ヘル人ダケガ買ヘルト云フコトニナルノデアリマス、買ヘル人ダケガ買ヘルト云フコトハ、購買力ノアル人ガ買ヘルト云フコトニナルハデアリマシテ、ソレ等ノ人達ハ恐ラク萬金ヲ投ジテモ買フデアリマセウ、サウシマス、價格ハ其ノ面カラ亂レテ参リマス、價格ガ亂レテ参リマスレバ、假令其ノ公定價格ガ妥當ナモノデアリマシテモ、眞面目ナ農家デ公定價格デ供出スル者ハ恐ラクナクナルト云フ、是ハ極端デアリマセウガ、非常ニ阻害サレルト思ヒマス、ソレハ結果的ニ見タノデアリマスガ、今度ハソレヲモウ一遍裏返シテ見マスレバ、サウ云フ制度ヲ執ルト致シマスレバ、供出ノ割當ヲ致シマス時ニ、其ノ供出ノ割當ガナカク、決ラナイト思フ、何故ナラバ、供出ヲシタ後ノ總テ自由ニ賣レルト云フノデアリマスレバ、出來ルダケ自由ニ賣レル數量ヲ澤山取ツテ置カウト云フノハ人情デアリマス、サウシマスレバ、政府ガ此ノ一般ノ國民ノコトヲ考ヘマシテ少クトモ食糧ノ主食ニ付テハ公平ナ配給ヲシヨウト云フ意圖ハ、私ハ崩レテ來ルト思ヒマス、殊ニ今ノヤウナ「インフレーション」

ショウ」期ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ是カラハ軍需補償ノ打切ニ依ツテ、企業ハ整理サレ、失業者ハ出テ参リマス、サウ云ツタ時ニ自由經濟ニ復歸スルト云フコトハ、是ハ私トシマシテハドウモ其ノ結果ガ良イト云フ自信ガ持テマセヌ、理論トシテハ一應自由ト云フ此ノ抽象的ナ理論ガ許サレバ、又生産者ガソレニ依ツテ生産意欲ガ昂マルト云フヤウナ一面ダケヲ考ヘテ見マスルナラバ、或ハ論理トシテハ、成立シカモ知レマセヌガ、併シサウ云フ一面ダケヲ考ヘテ行クコトニハ行カナイノデアリマシテ、生産同時ニ一般ノ配給ト云フコトモ不可分ニ考ヘテ行カナクハナラナイデアリマス、私トシマシテハ、衆議院ニ於テ自由黨ノ宮本君カラ質問ガアツタノデアリマスガ、一部ノ自由販賣ヲ認メルト云フコトハ此ノ際探ルベキ方策デハナイト思ヒマス、ソレドモ御同意シ兼ネルノデアリマス、農民ノ大半ト云ヒマス、多クノ者ハ、恐ラク現在ハ三割、四割ト云フモノハ、一年間ノ通ジマシテ自己ノ保有食糧ヲ持ツテ居ル農家ハアリマセヌ、恐ラクハ飯米農家ノ方ガ多イデアリマス、ソレ等ノ者ハ還元米トシテ現在デモ配給ヲ受ケテ居ニ角ヤツテ居ルノデアリマシテ、ソレ等ノ農家自身ガ又高イ米ヲ買ハナケレバナラヌト云フコトニモナリマスシ、又自由販賣ヲ行ヒマス、今申上ガマシタヤウナ困難ガ發端サレルノデアリマス、ドウモ自由販賣スルモノデアリマスナラバ、其ノモノヲ統制ノールトニ乗セテ、國家ガ買ツテ、國家ガソレヲ配給スルト云フコトニスレバ宜イノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマシテ、自由販賣ノ議論ニハ色々ナ觀點

カラ同意致シ兼ネルノデアリマス。○板谷順助君 時間モアリマセヌカラ、私ハ別ニアナト理論闘争ヲヤツテ行ク考ヘハアリマセヌ、アナタハ實際ニ即スト云フ御話デアルカラ申シマスガ、今國民ノ所得ハ一體幾ラアルト思ヒマス、食糧、貨幣、供給其ノ他ニ付テハ皆關相場デアル、比ノ關相場デハ五百圓生活ヲヤレト云ツタツテ出來ナイ、主食ノ乏シイコトカラ、ソレヲ、補充スル爲ニ非常ニ高イモノヲ買ハナケレバナラナイト云フ狀態デアル、現在新圓ヲ澤山持ツテ居ル人ハドウ云フ方面デアルカ、アナタハ金持々ト仰シヤルガ、恐ラクハ現在ニ於テ所謂中産以上ノ階級ハ新圓ヲ獲得ハ容易デヤナイ、其ノ容易デヤナイ金デハ主食ヲ澤山買ヒ集メラレル者ハサウアリマセヌ、加之六十圓、七十圓ノ米ヲ買ツタ其ノ儲ケハ誰ノ所ニ行クカト言ヘバ、所謂惡徳農家カ、又一部ノ關商人ノ手中ニ集リガ入り込ムト云フ結果ニナツテ居ル、又蔬菜ノ問題ニ付キマシテモ、今度政府ガ明年度ノ豫算ニ於テ一億九千八百萬圓ノ補給金ヲ出スト云フ、成ル程六大都市ニ野菜ガ思フヤウニ集ラヌ關係カラ、或程度迄之ヲ補給スルト云フコトハ必要デモアリマセウガ、現在ノ配給物ノ狀態ハドウデス、腐ツタヤウナ物ガ枯レテ居ルヤウナ物ヲ割合ニ高ク配給シテ居ルノデス、私ハ先般來町ヲ歩イテ見テ、胡瓜ハ初メ十圓ニ五本デアツタモノガ、最近ニ於テ十本ニナツタ、ダカラシテ、成ル程現在ノ食糧ニ對シテ當局トシテハ非常ナ苦心ヲシテ居ラレルデアリマセウガ、統制ノ結果必ズシモ安全ナ配給ハ出來ナイト云フコトハ、アナタモ一ツ御考ヲ願ハナケレバナラス、例ヘバ昨日カラ公

定價ヲ決メテ料理屋或ハ飲食店ガ休業スル、或ハ野菜、鮮魚ガ思フヤウニ出テ來ナイ、是ハ都民ガ飲ミ食ヒシナイデ居ル譯ニモ行カヌデアリマセウガ、或ル程度迄我慢シ、辛抱シテ、是位食ヘバ宜イト云フ程度ヲ願レバ、矢張り自然供給關係ニ於テ相當ニ緩和サレル時代ガ來ル、ダカラ私ガ申上ガマスハ、要スルニ現在ノ如キ食糧ノ不足ノ場合、當局トシテハ非常ニ御苦心ニナツテ居ルデアリマセウケレドモ、唯一ノ公定ノ爲ニ非常ニ高イ關ノモノヲ食ツテ居ツテ、現在ノ俸給其ノ他ガ皆關相場ニナツテ居ル、此ノ點ニ付テ御考ヲ願ハヌト云フト、國民トシテハナカナカ容易デナイ、生活ノ面ニ於テ容易デナイト私ハ思フノデアリマス、併シ是以上申上ガマスナラバ議論ニナリマスカラ、私ハ此ノ程度デ、又適當ノ機會ニアナト御意見ヲ聽キマスガ、ソレニ付テモウ一點私ハ伺ヒタイ、ソレハ、大體日本ノ狭イ地域ニ人口ハ恐ラク三、四年後ニハ約八千萬ニナルデセウ、ソレデ此ノ開發問題ニ付テ政府ガ應大ニ豫算ヲ立テテ居ル、日本全國ニ約百五十萬町歩、北海道七十萬町歩、或ハ八十萬町歩ト云フ、之ニ對シテ一段歩八百五十萬圓ノ開發費ヲ掛ケルト云フ、私ハ從來ノ經驗カラ言フト、北海道ノ如キハ或ハ七十萬町歩百萬町歩ト云フ上ニ現レテ居ルデセウガ、現在殘ツテ居ルモノハ殆ド火山灰、或ハ泥炭地ガ多イ、從來ト雖モ此ノ土地ノ開發ニ付テ金ヲ掛ケテ積極的ニヤツタノハ、皆割合ニ失敗シテ居ル、日本ノ從來ノヤリ方ハ、矢張り經驗ノアル者ガ其ノ附近ノ土地ヲ段々攻メテ行ツテ初メテ成功スル、現ニ北海道ノ如キモ、水田ガ四萬町歩、畑ノ如キモ十萬町歩開發

サレテ居ルノガ荒レテ居ルト云フ狀態デアル、デアリマスカラ、天候ト說ミ合セテ或ル程度迄開發スルト云フ必要ハアルダラウケレドモ、國家ガ應大ニ資本ヲ下シテ開發シテモ、大キナヤリ方ヲシタナラバ、必ズ失敗ニ歸シマスヨ、又是等ニ移住スル者ニ付テ少クトモ三、四年ノ衣食住ノ供給ヲシナカッタナラバ……住宅ハ勿論衣食ノ供給ヲシナカッタナラバ、其ノ土地ニ落著ケルモノデハナイ、現ニ昨年ノ如キモ罹災者、或ハ歸還軍人、引揚者其ノ他ニ付テ政府ガ移住ヲ獎勵サレテ居ル、是ハ賊ニ結構、結構ダガ、併シ是等ノ經驗ノナイ人ガ行ツテモ、ソレニ對スル所ノ適當ナ政府ガ或ル程度ノ衣食住與ヘ、住居ヲ與ヘテ、少クトモ三、四年乃至五年位ノ間ハ一人前ニ自給自足ガ出來ルヤウナ方法ヲ探ラナケレバ、容易デハナイト私ハ思フノデアリマス、殊ニ北海道ノ如キ、例ヘバ御料林、國有林モ澤山アル、國有林モ澤山アルガ、是ハ國境ニ近イ便利ノ惡イ所デアル、御料林ハ割合ニ便利ノ良イ所ニ、是ガ六十萬町歩アル、私ハ帝室林野局長、或ハ宮内大臣ニ、此ノ點ニ付テ御料林ノ開放ヲヤレト云フコトヲ屢々叫ンダコトガアル、トコロガ何シロ皇室ノ財産デアルカラ、ソレヲ言ヘバ不敬ダト云フヤウナコトデ、餘リ重キヲ置イテ話ニナラナイ、ケレドモ現在ニ於テハ鬼ノ角先ヅ北海道ノ御料林ヲ開發スルト云フコト、ソレカラ又更ニ、今申上ガマスヤウニ、既ニ起シテ荒レテ居ル所ノ土地ハ、之ニ先ニ手ヲ著ケテ行ク、應大ニ開發投ヲ掛ケテ大キク擴ゲダカラト云ツテ決シテ成功シマセヌヨ、之ニ對シテ將來アナタハ日本全體ノ自給自足ヲ圖ル上ニ於テ、今後ドレ

ダケノ食糧を補給ガ出来タラ宜シイ
カ、本年ノ如キハ幸ヒ豐作デアッタナ
ラバ、恐ラクハ六千萬石以上ニナルデ
セウ、其ノ外麥モアリ、芋モアル、之
ニ對スル所ノ計畫ノ大要デ宜シイ、若
シ御話ガ出来ルナラバ御願ヒシマス

ナ、例ヘバ御料林トカ、國有林デ以
テ相當ニ開墾スベキ土地、是等ハ先ヅ
第一ニ木ノ伐ラナケレバナラヌ、從ツ
テ三、四年、五、六年ノ後デナケレバ
イケンナイ、デアールカランシテ今後講和會
議ガ出来マシテ、日本ガ貿易ヲ許サレ
ルト云フヤウナ時代ガ来タラバ、矢
張リ日本ハ或程度迄工業方面ニ力ヲ入
レテ、サウシテ安イ米ヲ外國カラ買入
レルト云フヤウナ政策ヲ執ルベキモノ
ト思フ、處デ幸ニ最近聯合國カラ麥粉
ノ供給ガアツタ、ダカラ大分日本人
モ、從來ハ米食ニ慣レテ居ツタケレド
モ、將來食糧政策トシテハ「パン」食ヲ
出來ルダケ獎勵スル必要ガアルト思フ
デアリマス、ソレカラ今申上ゲマス

件ト、ソレカラ今日日本ガ開墾ヲ行ハ
バナラナイ條件トハ大分違フト思ツテ
居リマス、從ツテ開墾地ハ矢張り今
後ハ從來ノ方式ニ因ハレナイ農業經營
ヲヤツテ行クコトモ考ヘテ、開墾ト云
フモノヲ私ハヤリタイト思ツテ居ルノ
デアリマス、從ツテソレ等ノ點ニ付テ
ハ、残念ナガラ日本ニ於キマシテハ技
術的ニモ、ソレカラ經濟的ニモ研究ガ
足リマセヌ、ソレデ農林省トシマシテ
ハ開拓研究所ト云フモノヲ作リマシ
テ、其處デ矢張り基本的な、サウ云フ
經營ノ面カラモ、新シイ農業ノ技術ノ
點カラモ、開墾地ノ本當ノ經營樣式ノ
點カラモ、色々ノ研究ヲ進行シテヤリ
マシテ、ソレデ出來マシタ開墾ト云フ
モノガ、直グニ經濟的ナ自由競争ノ下
ニ於テ没落シテシマハナイヤウナモノ
ヲ考ヘテ實ハヤシテ行キタイ、斯ウ考
ヘテ居リマス、其ノ前提ニナリマスル
所ハ、結局開墾ノ適地ト云フモノヲ正
確ニ決メルト云フコトダラウト思ヒマ
ス、ソレ等ノ點ニ付テハ、是ハ適地ノ
調査ト云フモノヲ色々技術者並ニ權
威者ニ依ツテヤリマス一方、其ノ適地
ノ決定ニ付テモ、又經驗者其ノ他意見
ヲ聽キマスルヤウナ何カ委員會ノヤウ
ナモノヲ作ツテ、其處デ決メテ行ク、
其ノ決ツタ適地ニ付テ開墾ヲ實行スル
實行シテ行クト云フヤウニ致シタイト
斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、從
ヒマシテ板谷君サノ仰シヤイマスルヤ
ウニ、現在ノ日本人ノ食生活ハ、マア
幸ヒト云ヒマスカドウ云ヒマスカ、大
分戰爭中並ニ戰爭以後變ツテ來テ居ル
ト思ヒマス、從ヒマシテ此ノ食生活ノ
變ツタト云フコトハ、言ヒ換ヘレバ日
本人ノ食物ノ種類ニ對スル需要ノ方向
ガ變ツタトモ言ヘル、サウ云フヤウナ

點ヲ考ヘマシテ開墾ニ付テ狙ヒマスル
作物デアルトカ、其ノ他色々ノコトニ
付テノ工夫モヤツテ行ク、斯ウ云フヤ
ウニ考ヘテ、折角研究モ致シテ居リマ
スシ、又サウ云フ構想ノ下ニ開墾ハ一
面ニ於テハヤツテ見タイト思ヒマス、
併シ開墾ニ付テ一應御了解ヲ願ツテ置
カナケレバナリマセヌノハ、御承知ノ
ヤウニ失業問題等ガ非常ニ深刻デアリ
マス、復員者デアリマスモ失業者ノ
方ヲソレニ吸收スルト云フコトモ考ヘ
ナケレバナリマセヌノデ、一應其ノ考
ヘ方ガドウシテモ二本建ニナラザルヲ
得ナイデアリマス、ソコニ今ノ日本
ノ開墾計畫トシテハ二ツノ謂ハバ矛盾
シタ要求ガ出テ來ルノデアリマシテ、
ソコニ苦心ガ要ルト斯ウ思フ次第デア
リマス、ソレカラ又農業立國カ、工業
立國カト云フコトハ今直チニ決メラル
ベキモノデハアリマセヌ、私自身農業
立國デナケレバナラヌトカ、工業立國
デナケレバナラヌトカ云フコトハ嚴密
ニハ考ヘテ居リマセヌガ、併シ色々考
ヘテ見マスルト、矢張り日本トシマシ
テハ、何レハ「ロンドン」會議ノ結
果、世界ノ貿易機構モ決ツテ來ルデア
リマセヌ、又日本ガ講和條約ヲ結ビマ
スレバ、總テハ平和國家トシテ世界ノ
經濟機構ノ中ニ入シテ貿易ガ出來ルヤ
ウニナルノデアリマスガ、ソレ等ノコ
ト及ビ日本ノ持ツテ居リマスル資源、
其ノ他ノ技術ト云フモノヲ考ヘテ見マ
スレバ、矢張り日本トシマシテハ輸出
工業ナリ其ノ他ノ工業ト云フモノノ發
展ヲ、是ハドウシテモ期シテ行カナケ
レバナラヌデアリマシテ、工業ト農
業ト云フモノガ共ニ私ハ日本トシテ
必要ダト思フノデアリマシテ、假令今
私ノ専門ノ農業ダケノ方面カラ考ヘマ

シテモ、農業問題、殊ニ農業ノ人口開
題ガ農業内部ダケデ解決サレルトハ思
ツテ居リマセヌ、又サウ云フコトハ出
來ナイト思ヒマス、是ハドウシテモ工
業ノ方ノ發展ヲ待ツタリ、其ノ外トノ
連繫ヲ待ツテ、或モノハ解決シテ行カ
ナケレバナラヌ、ソレカラ海洋ノ立國
デアリマスガ、成ル程戰爭中水産ノ方
ハ船ヲ徵用サレマシタリ、此ノ間ニ行
政整理ナンカデ相當技術者ガ少クナツ
タリシマシテ、内容的ニハ一應普ニ較
ベマスレバ相當縮小サレタ形ニナツテ
居リマス、之ニ付キマシテハ、今直グ
ニ私ハ水産局ヲ水産省ニシマシテモ
レデ成績ガ上ルトハ考ヘマセヌガ、水
産局自體ノ此ノ充實ト云フコトハ、是
ハ是非圖ツテ、現在デコソ漁業ヲ得ル
面積、區域ガ制限サレテ居リマスル
ガ、將來ハ是ハ日本ノ富ヲ増スト云フ
上カラ見マシテモ、日本人ノ食生活ヲ
豐富ナシメルト云フ上カラ見マシテ
モ、ソレカラ又日本人ガ從來持ツテ居
リマシタ優秀ノ技術ヲ活カスト云フ點
ト致シマシテモ出來ルダケ力ヲ入レテ
行カナケレバナラナイ産業ト思ヒマス
ノデ、此ノ點ニ付キマシテハ水産局ヲ
充實スルト共ニ十分ナ努力ヲ拂ツテ參
リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○板谷順助君 マダ意ヲ盡シマセヌケ
レドモ、又更ニ適當ノ機會ガアルト思
ヒマスノデ此ノ程度質問ハ切切リマ
スガ、皆様ニ御迷惑ヲ掛ケテ済ミマ
セヌ

○委員長(男爵古市三三君) ソレデハ
本日ノ會議ハ之ヲ以テ散會致シマス、
次ハ先程申上ゲマシタヤウニ月曜日ノ
午前十時カラ又御願ヒ致シマス
午後零時三十一分散會

○國務大臣(和田博雄君) 將來ノ日本
ノ食糧ノ供給デアリマスガ、是ハ聯合
軍ノ方ヘ去年ノ暮デアリマシタカ、農
業五箇年計畫トシテ一應出シタノデア
リマスガ、其ノ計畫ハ日本ノ現在ノ人
口ノ趨勢モ考ヘ、ソレカラ肥料ナリ其
ノ他ノ生産資材ノ供給ノ方ノコトモ考
ヘ、色々ナ要素ヲ考ヘマシテ、一應ノ
案トシテ出シタノデアリマスガ、矢張
リ色々ノモノヲ綜合致シマシテモ、將
來ニ於テ日本デ完全ニ自給自足ト云フ
コトハ是ハ多少困難ダト思ヒマス、殊
ニ是ハ出來ルダケ日本ノ食糧ノ供給力
ヲ上ゲテ行クト云フコトガ必要デアリ
マスルノデ、其ノ點ニ付キマシテハ、
一面ニ於テハ出來上リマシタ開墾ナン
カニ例ヲ取ツテ言ヘバ、農家ガ十分此
ノ經營ノ點カラ言ツテモ基礎ノ鞏固ナ
經營トシテ成リ立ツテ行クヤウナコト
ヲ考ヘナガラ、食糧ノ増産ト云フコト
モ同時ニ圖シテ行カナケレバナラヌノ
デアリマスガ、直グニ日本デ食糧ノ完全
ナ自給自足ガ出來ルト云フヤウニハ今
ノ處言ヘナイノデ、斯ウ思ツテ居リマ
ス、細カイ數字ハ今材料ヲ持ツテ居リ
マセヌカド何トモ言ヘマセヌガ、大體
ノ見當ハ以上ノ通りデアリマス

○板谷順助君 私ハ將來ノ日本ガ、或
ハ農業立國トカ、或ハ工業立國ト云フ
ヤウナコトヲ言フケレドモ、何モ今カ
ランナ區別ヲスル必要ハナイ、併シ
ナガラ開墾ト云フコトデ殘ツテ居ル土
地ト云フモノガ餘リ良イ所ハ殘ツテ居

テ此ノ際……
○國務大臣(和田博雄君) 御答ヘ致シ
マス、私ハ日本ノ開墾ト云フモノハ正直
ニ言ヒマシテマダ本當ノ意味デハ未開
ノ分野ダト思ヒマス、ト申シマスノハ
從來開墾ト云フモノガ行ハレマシタ條

件ト、ソレカラ今日日本ガ開墾ヲ行ハ
バナラナイ條件トハ大分違フト思ツテ
居リマス、從ツテ開墾地ハ矢張り今
後ハ從來ノ方式ニ因ハレナイ農業經營
ヲヤツテ行クコトモ考ヘテ、開墾ト云
フモノヲ私ハヤリタイト思ツテ居ルノ
デアリマス、從ツテソレ等ノ點ニ付テ
ハ、残念ナガラ日本ニ於キマシテハ技
術的ニモ、ソレカラ經濟的ニモ研究ガ
足リマセヌ、ソレデ農林省トシマシテ
ハ開拓研究所ト云フモノヲ作リマシ
テ、其處デ矢張り基本的な、サウ云フ
經營ノ面カラモ、新シイ農業ノ技術ノ
點カラモ、開墾地ノ本當ノ經營樣式ノ
點カラモ、色々ノ研究ヲ進行シテヤリ
マシテ、ソレデ出來マシタ開墾ト云フ
モノガ、直グニ經濟的ナ自由競争ノ下
ニ於テ没落シテシマハナイヤウナモノ
ヲ考ヘテ實ハヤシテ行キタイ、斯ウ考
ヘテ居リマス、其ノ前提ニナリマスル
所ハ、結局開墾ノ適地ト云フモノヲ正
確ニ決メルト云フコトダラウト思ヒマ
ス、ソレ等ノ點ニ付テハ、是ハ適地ノ
調査ト云フモノヲ色々技術者並ニ權
威者ニ依ツテヤリマス一方、其ノ適地
ノ決定ニ付テモ、又經驗者其ノ他意見
ヲ聽キマスルヤウナ何カ委員會ノヤウ
ナモノヲ作ツテ、其處デ決メテ行ク、
其ノ決ツタ適地ニ付テ開墾ヲ實行スル
實行シテ行クト云フヤウニ致シタイト
斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、從
ヒマシテ板谷君サノ仰シヤイマスルヤ
ウニ、現在ノ日本人ノ食生活ハ、マア
幸ヒト云ヒマスカドウ云ヒマスカ、大
分戰爭中並ニ戰爭以後變ツテ來テ居ル
ト思ヒマス、從ヒマシテ此ノ食生活ノ
變ツタト云フコトハ、言ヒ換ヘレバ日
本人ノ食物ノ種類ニ對スル需要ノ方向
ガ變ツタトモ言ヘル、サウ云フヤウナ

點ヲ考ヘマシテ開墾ニ付テ狙ヒマスル
作物デアルトカ、其ノ他色々ノコトニ
付テノ工夫モヤツテ行ク、斯ウ云フヤ
ウニ考ヘテ、折角研究モ致シテ居リマ
スシ、又サウ云フ構想ノ下ニ開墾ハ一
面ニ於テハヤツテ見タイト思ヒマス、
併シ開墾ニ付テ一應御了解ヲ願ツテ置
カナケレバナリマセヌノハ、御承知ノ
ヤウニ失業問題等ガ非常ニ深刻デアリ
マス、復員者デアリマスモ失業者ノ
方ヲソレニ吸收スルト云フコトモ考ヘ
ナケレバナリマセヌノデ、一應其ノ考
ヘ方ガドウシテモ二本建ニナラザルヲ
得ナイデアリマス、ソコニ今ノ日本
ノ開墾計畫トシテハ二ツノ謂ハバ矛盾
シタ要求ガ出テ來ルノデアリマシテ、
ソコニ苦心ガ要ルト斯ウ思フ次第デア
リマス、ソレカラ又農業立國カ、工業
立國カト云フコトハ今直チニ決メラル
ベキモノデハアリマセヌ、私自身農業
立國デナケレバナラヌトカ、工業立國
デナケレバナラヌトカ云フコトハ嚴密
ニハ考ヘテ居リマセヌガ、併シ色々考
ヘテ見マスルト、矢張り日本トシマシ
テハ、何レハ「ロンドン」會議ノ結
果、世界ノ貿易機構モ決ツテ來ルデア
リマセヌ、又日本ガ講和條約ヲ結ビマ
スレバ、總テハ平和國家トシテ世界ノ
經濟機構ノ中ニ入シテ貿易ガ出來ルヤ
ウニナルノデアリマスガ、ソレ等ノコ
ト及ビ日本ノ持ツテ居リマスル資源、
其ノ他ノ技術ト云フモノヲ考ヘテ見マ
スレバ、矢張り日本トシマシテハ輸出
工業ナリ其ノ他ノ工業ト云フモノノ發
展ヲ、是ハドウシテモ期シテ行カナケ
レバナラヌデアリマシテ、工業ト農
業ト云フモノガ共ニ私ハ日本トシテ
必要ダト思フノデアリマシテ、假令今
私ノ専門ノ農業ダケノ方面カラ考ヘマ

シテモ、農業問題、殊ニ農業ノ人口開
題ガ農業内部ダケデ解決サレルトハ思
ツテ居リマセヌ、又サウ云フコトハ出
來ナイト思ヒマス、是ハドウシテモ工
業ノ方ノ發展ヲ待ツタリ、其ノ外トノ
連繫ヲ待ツテ、或モノハ解決シテ行カ
ナケレバナラヌ、ソレカラ海洋ノ立國
デアリマスガ、成ル程戰爭中水産ノ方
ハ船ヲ徵用サレマシタリ、此ノ間ニ行
政整理ナンカデ相當技術者ガ少クナツ
タリシマシテ、内容的ニハ一應普ニ較
ベマスレバ相當縮小サレタ形ニナツテ
居リマス、之ニ付キマシテハ、今直グ
ニ私ハ水産局ヲ水産省ニシマシテモ
レデ成績ガ上ルトハ考ヘマセヌガ、水
産局自體ノ此ノ充實ト云フコトハ、是
ハ是非圖ツテ、現在デコソ漁業ヲ得ル
面積、區域ガ制限サレテ居リマスル
ガ、將來ハ是ハ日本ノ富ヲ増スト云フ
上カラ見マシテモ、日本人ノ食生活ヲ
豐富ナシメルト云フ上カラ見マシテ
モ、ソレカラ又日本人ガ從來持ツテ居
リマシタ優秀ノ技術ヲ活カスト云フ點
ト致シマシテモ出來ルダケ力ヲ入レテ
行カナケレバナラナイ産業ト思ヒマス
ノデ、此ノ點ニ付キマシテハ水産局ヲ
充實スルト共ニ十分ナ努力ヲ拂ツテ參
リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○板谷順助君 マダ意ヲ盡シマセヌケ
レドモ、又更ニ適當ノ機會ガアルト思
ヒマスノデ此ノ程度質問ハ切切リマ
スガ、皆様ニ御迷惑ヲ掛ケテ済ミマ
セヌ

○委員長(男爵古市三三君) ソレデハ
本日ノ會議ハ之ヲ以テ散會致シマス、
次ハ先程申上ゲマシタヤウニ月曜日ノ
午前十時カラ又御願ヒ致シマス
午後零時三十一分散會

第四部第十一類 會計法戰時特例廢止等ニ關する法律案特別委員會會議事速記録第四號

昭和二十一年八月二日【貴族院】

九

九

九

九

九

出席者左ノ如シ

委員長 男爵古市 三三君
副委員長 子爵黒田 長敬君
委員

侯爵四條 隆徳君
侯爵佐竹 義榮君
子爵松平 親義君
男爵多久龍三郎君
黒田 英雄君
松本勝太郎君
板谷 順助君
伯爵金子 武麿君
子爵日野西資忠君

國務大臣

設林大臣 和田 博雄君

政府委員

外務事務官 山中 徳二君
大蔵事務官 加藤 八郎君
同 河野 一之君
同 室谷 直光君
同 石原 耀夫君
運輸事務官 郷野 基秀君
同 伊能繁次郎君
逓信事務官 小池 行政君
同 渡邊晋二郎君
同 後原 勲君
同 岡井綱三郎君

昭和二十一年九月十三日印刷

昭和二十一年九月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局